

# 公開授業だより

平成29年2月17日(金) NO. 8

～アクティブラーニングを取り入れての授業改善～

今日のK先生の研究授業（授業公開）は、理科を中心に16名の先生方にご見学いただきました。1年次理科の選択科目「化学基礎」で、酸化と還元わかりやすくiPadを駆使して視覚に訴えながら、説明・簡単な演習と教え学びあいがあり、アンパンマン等の多数のイラストの登場する、50分間楽しく学んだ授業でした。

**科目 「化学基礎」 ・ 担当 K 先生**  
**日時 2月17日(金) 1限 実験室2**  
**単元 「酸化数の変化」・「酸化剤・還元剤」**

## ■授業の形態

新しい単元で、既習の知識を生かし生徒自身が考え、新たな理論に気づく「対話型授業」。iPadを使い、机間巡視をしながら、手元の作業でヒントの提示や問いかけをおこなう。

## ■授業のテーマ

課題の答合わせ。既習事項を踏まえ、化学反応式中の物質で酸化数がどのように変化したのかを見る。また、「酸化剤・還元剤」とは酸化数がどのように変化したのかを、自理解・判断できるようにする。

## <授業者より>

これまですべての担当科目でiPadを活用してきました。事前のスライド準備は大変ですが、一度つくと授業でスピードをあげて進めることができ、復習も容易です。また、黒板はほとんど見ず、生徒の表情を見ることができ、説明についてきたかを確認しながら授業ができます。「ALはテストの点を上げることには直結しない」とよく言われますが、スライド



の活用・問題の厳選で、演習時間ゆとりをつくり、ALを工夫して取り入れ、ALと問題演習量のバランスキープに努めています。ただ、本時はAL的な活動が少なくなりましたが、化学は問題演習前の理論の理解が大切であり、文系生徒の興味関心を引く有名なキャラクターの登場や、身近なたとえ話で堅苦しさを払拭するなどの工夫をしました。また、授業の最後に、配布プリント「今日のここがめっちゃ重要!!」に生徒自身の感じたポイントを文章やイラストで書かせ、そのペーパーを次回授業で発表することで、内容の定着を図ります。今後は、内容の厳選とALの場面を増やすことで、授業改善を進めていきたいと思えます。

## <見学者の感想より>

### 授業全体

- ・情報機器を有効に活用して、視覚に訴える授業で参考になった。全体的にテンポのよい、ライブ感のある授業で、見ていても楽しかった。
- ・ALを意識すれば、初めの宿題の間違いを生徒に気づかせ、考えさせる方法もある。

### 生徒の学習活動

- ・自分の高校生時代を思い出しながら授業を受けた。K先生に習う生徒がうらやましい。

